

## 新春を迎えて

県北西部地域医療センター  
国保和良診療所長 堀 翔大

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。住民の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年5月から新型コロナウイルスが5類感染症に位置付けられ、季節性インフルエンザと同等の扱いとなりました。それに伴い感染防止対策に関しましても、個人や事業者の自主的な判断に委ねられる形が基本となりました。しかしながら、新型コロナウイルスがなくなったわけではありません。またインフルエンザウイルスも猛威を振るっており、患者数も郡上市全体では増加傾向にあります。和良地域自体を盛り上げつつも、引き続き手洗い、こまめな換気、密集の際はマスク着用など基本的な感染防止対策への取り組みへのご協力をよろしくお願いいたします。



堀 翔大 医師

当院での去年の取り組みとしては、コロナ禍のため開催を見送っておりました地域医療懇話会を対面方式で再開、和良地区の半分地域（15地域に分けたうち8地区）を回らせていただきました。自分からは「認知症」、後藤ケアマネジャーからは「介護保険」をテーマにお話させていただきました。診療所の診察室以外で住民の皆様をお話できる貴重なイベントであり、住民の皆様の「生の声」が聞けてとても新鮮な機会でした。

また個人的には、昨年度から渡邊先生に代わり所長としての診療所勤務が始まりました。慣れないことばかりでプレッシャーを感じることもたくさんありましたが、住民の皆様の温かい人柄に何度も救われながら2023年を終えることができました。ありがとうございました。

昨年も外来診療、デイケア、老健、住民健診とともに、在宅医療に力を注いで参りました。昨年に引き続き、住民の皆様一人ひとりがその人らしい生き方、和良にいてよかったと思えるような生活を微力ながら支えていきます。例年同様、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

